令和5年１１月２５日

東京学芸大学附属高等学校　第22回公開教育研究大会

芸術科（音楽）　学習指導案

授業者　居城　勝彦

|  |
| --- |
| 研究主題との関わりさまざまな時代、地域の音楽を学習対象とする芸術科（音楽）では、活動を通して地球市民を育てることが可能であると考えている。ここでいう地球市民とは、以下の４つのイメージとして捉えている。1.自己を育てた社会を理解し、自分を取り巻く社会の中でいかに生きるかの選択・決断ができる人。2.他者の人権を認め、共生の哲学に基づいて行動できる人。3.普遍的でグローバルな諸問題を自らの問題と考え、そして地球的視座に立って行動できる人。4.総合的な教養を持つ人。この４つのイメージは、本校が研究テーマとしている「生徒Agency」に重なる部分が多いと考えている。本実践では「自らが演奏した音楽（ウクレレによるハワイアン音楽の弾き歌い）からその成立背景に迫ること」を大事にしている。その理由は、鑑賞活動から始まるよりも、その音楽文化と学習者自身の距離が近くなるからである。このような学習過程を踏むことで、楽曲演奏を通してより自分ごととして音楽文化やその成立背景に向き合うことが可能であるからと考えている。 |

# 1. 対　象　　　１年BF組（25名）

# 2. 単元名　　　太平洋の音楽に親しもう

# 3. 単元の目標

・ウクレレ弾き歌いを通して、ハワイアン音楽に親しもう。

・ウクレレ弾き歌いを通して触れたウクレレやハワイから、その成立背景や音楽文化としての今を考えよう。

# 4. 単元設定の理由

## （1）生徒たちの実態および本単元に至るまでの学習

　今年度の授業開きにおいて、音楽の学習で扱うトピックについてのイメージを自由記述させた。「太平洋の音楽」については「民族的な音楽」「のんびりした感じ」「打楽器中心」「踊りがある」などの記述とともに、「わからない」という素直な記述も複数見られた。

本単元のウクレレ弾き歌いまでの学習では、コロナ禍で歌唱活動に制限を受けた中学校３年間を送っている生徒たちであることを踏まえ、歌唱に関する活動を中心におこなってきた。男子は活動制限により歌えない期間に変声が進み、自分の歌声を見つけられない生徒も見られたことから、混声合唱曲ではなくパートナーソングとなる５重唱に取り組んだ。２学期は実習生単元の斉唱曲や混声合唱曲をレパートリーとして歌い続ける中で、自分の発する声と仲間の声の重なりを意識できるように活動をしている。

 生徒たちは、本活動と並行して「連作曲集の創作」も行なっている。2学期後半は、全員で息を揃えて声を重ねる合唱と個人のペースで取り組む創作とウクレレ弾き歌いを1回の授業（50分２コマ）のなかで行うようにしている。

## （2）教材の特性と授業者の手立て

　　音楽の学習では、さまざまな地域の音楽文化を取り上げることが可能であるとしながら、なかなか題材として取り上げることがなかった地域があり、その１つに太平洋地域の音楽が挙げられる。本実践では、生徒にとって触れる可能性が高く、演奏を通して音楽文化やその周辺に触れられると考えられる太平洋地域の音楽として、ハワイアン音楽を取り上げ、ウクレレの演奏経験を通して音楽文化の成立背景に目を向ける実践を試みる。

授業づくりの視点として、

・生徒たちは身近に感じる地域だが、この地域(ハワイ)の史実を通史として知る機会がほぼない。

・ウクレレは生徒にも扱いやすく、手軽な楽器である。

・器楽として演奏するだけでなく、歌唱を伴う弾き歌いも可能である。

・器楽領域や歌唱領域から導入し、鑑賞を加えて思考し、演奏後に省察する学習過程は音楽科の学習における多くの領域をカバーできる。

という４点を考えた。

ウクレレという楽器を知ってはいるが、この活動で初めて触れた生徒がほとんどである。活動開始から「趣味・特技の欄に『ウクレレ弾き歌い』と書けるようになろう」を合言葉に演奏に取り組んでいる。これは、Agencyを育むための条件「学びが楽しいこと」に相当する。

授業では、最初から細かな指示はせずに教科書の記述をもとに練習を始め、レパートリーが完成すると授業者の前で演奏し、合格するとスタンプをもらうという過程を繰り返している。その際、一緒に演奏したり演奏技術に合わせてハモってみたりもしている。一斉指導の時間を少なくしているのは、各自のペースで取り組むことを推奨したいからで、生涯教育の視点に立った楽器の演奏技術習得となることを意識しているからである。これは、Agencyを育むための条件「学びが自分ごとであること」に相当する。

本時の調べ学習ではインターネット上の情報と書籍の情報を活用する。書籍に関しては、学校図書館司書に授業構想を話して、選書してもらった。各自の調べた情報はJam boardを活用して共有する。また、学習感想の一部もJam boardを活用して即時共有し、同じ考えの人や異なる考えの人がいることから自己肯定感の醸成や知的好奇心の喚起を図る。これは、Agencyを育むための条件「価値観を変容させる機会があること」に相当する。

# 5. 指導計画

## （1）単元計画（全5時間）

第一次（3時間）　ウクレレ弾き歌いのレパートリーを増やそう。

　　　　　　　　　　「Michael,Row the Boat Ashore」「真珠貝の歌」3種

第二次（2時間）　ハワイアン音楽の成立背景を調べ、考えてみよう。

## （2）本時の学習（４・５/５時間目）

### ①本時のねらい

　ウクレレやハワイについて調べることをきっかけにして、ハワイの音楽の成立背景を知り、

ハワイや太平洋の音楽について考えてみよう。

### ②本時の授業展開（50分×２コマ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習の流れと生徒の活動 | 教員の指導と手立て |
| 1時間目（10）(10)(20)(10) | ○「真珠貝の歌」を復習しよう。・気持ちよく演奏できる。・G7が押さえづらい。アップストロークがうまくいかない。○ウクレレはどこの楽器だろう。・ハワイ○ハワイといったらどんなイメージが浮かぶだろう。・海、南の島、リゾート、ロコモコ○ウクレレとハワイについて調べ、Jamboardに書き込もう。○ウクレレについて、調べたことを眺めてみよう。・ブラギーニャ、4本の弦。8月23日　 | ・できることで参加させ、クラス全体で曲が通せていることを認めつつ、演奏上確認するべき部分はアドバイスする。教師も一緒に演奏し、任せられる部分は任せる。・ウクレレはハワイで生まれた楽器かを追加発問する。・生徒の中にあるハワイのイメージを出させ、この後の調べ学習での気づきを増やしたい。・インターネットや書籍を活用して、調べた内容を共有しながら進める。似た情報は画面上で整理しながらまとめていく。・生徒にとって新たな発見があったことを大事にみとる。 |
| 2時間目（5）(10)（15）（10）（15） | ○ハワイについて、調べたことを眺めてみよう。・Aloha、物価が高い、アメリカ50番目の州○ハワイにやってきた人の歴史について知ろう。・いろんな人がやってきている○フラの歴史について知ろう。・イメージとちょっと違うかな。○２つの「真珠貝の歌」を比べてみよう。・テンポや歌詞の内容が違う○ハワイアン音楽について知ろう。・音楽の形も変化しているんだ○「　　」に当てはまる言葉は何だろう。○今考えていることをJamboardに書いてみよう。○もう一度「真珠貝の歌」を演奏しよう。○学習感想を記入しよう。 | ・歴史や言語、観光名所、現況などさまざまな視点から調べていることに気づかせ、新たな発見があったことを大事にみとる。・ヒトの移動の視点からハワイの歴史を眺める。歴史の中に日本人や日系人が登場すること、現在のハワイについても触れるようにする。・フラは男性によって踊られる神への祈りだったことに触れる。・ハワイ語と英語で歌詞の内容が異なることに気づかせる。ハワイは自分たちの土地について歌っている。・知ることで見方が深まったり、違う捉え方ができるようになったりすることに気づいてほしい。・本時の学習前後で曲のイメージに変化があったかを省察させたい。 |

## （３）評価基準（ルーブリック）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 育成する資質・能力 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 観点 | 持つべき視座 |
| 知識・技能*「ウクレレ弾き歌い」* | 基本的な知識・技能の習得 | 英語とハワイ語の「真珠貝の歌」をレパートリーとしている。 | 英語またはハワイ語の「真珠貝の歌」をレパートリーとしている。 | 教科書掲載の２曲をレパートリーとしている。 | ウクレレ弾き歌いに取り組もうとしている。 |
| 思考・判断・表現*「成立背景を考える」* | 課題を発見する力 | ウクレレやハワイについて調べたことから、新たな課題を見つけている。 | ウクレレやハワイについてより多くの情報を集めようとしている。 | ウクレレやハワイについて情報を集めようとしている。 | ウクレレやハワイに対して自分なりのイメージを持っている。 |
| 論理的思考をもって問題を解決する力 | ハワイやハワイアン音楽について知ったことを太平洋地域に視野を広げて考えようとしている。 | ハワイやハワイアン音楽について持っているイメージと現実の違いを知り得た内容で説明しようしている。 | ハワイやハワイアン音楽について持っているイメージと知り得た内容を比較している。 | ハワイやハワイアン音楽の成立背景に関心を持っている。 |
| 自らの主張や考えを表現する力 | ウクレレやハワイについて調べた内容を他者との重なりを意識しながらJamboardに貼っている。 | ウクレレやハワイについて調べた内容を整理しながらJamboardに貼っている。 | ウクレレやハワイについて調べた内容をJamboardに貼っている。 | ウクレレやハワイについて調べている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度*「ウクレレ弾き歌い」**「成立背景を考える」* | 問題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢 | 演奏できるようになるための方法、理解できるようになる方法を考えようとする仲間に惜しみなく協力する。 | 演奏できるようになるための方法、理解できるようになる方法を考えようと他者と協力する。 | 演奏できるようになるための方法、理解できるようになる方法を考えようとする。 | 演奏できるようになろう、理解できるようになろうとする。 |
| 問題解決に向けて他者と協働できる力 | 演奏する仲間が増えることに喜びを感じる。 | 他者と楽しみながら演奏する。 | 他者を感じながら一緒に演奏する。 | 自力で練習に取り組む。 |
| 生徒Agency | 仲間とともにいる自分を意識する。 | 自分の周りにいる仲間を意識する。 | 自分の隣にいる仲間を意識する。 | 自分と向き合う。 |